時事新報

（日曜日ハカリ休刊）

時事新報定價

一枚金三錢〇一箇月前金六十五錢〇三箇月前金一圓八十錢〇六箇月前金三圓四十錢〇一箇年前金六圓五十錢〇東京十五區內並ニ橫濱區內ニ限リ配達無賃〇郵送料共ニ諸費ヲ除クノ外日本國內並ニ海外郵便約國（歐洲諸國等）（郵送ノ郵便料ハ一箇月金廿六錢一箇年金三圓十二錢ノ割ヲ以テ前金ニテ申請候事

時事新報廣告料（前金）

〇二日以上六日間以內一行ヨリ十行迄一行ニ付一日分金八錢、十一行ヨリ三十行迄一行ニ付一日分金七錢、三十一行ヨリ五十行迄一行ニ付一日分金六錢、但シ六日間以上掲載ノ分ハ定則一割引、十五箇間以上同斷同一割五歩引、三十日間以上同斷同二割引

〇一箇限廣告一行ヨリ十行迄一行ニ付一日分金十錢、十一行ヨリ三十行迄同金九錢、三十一行ヨリ五十行迄同金八錢、五十一行以上同金七錢（注意）本社廣告料ハ一日限リ掲載ノ分改正ニ三月一日ヨリ右ノ通計算致候但二日間以上掲載ノ分ハ從前ト少シモ異ナルコトナシ

東京

時事報報

政治上ノ移住民（前號ノ續）

国下歐洲諸國ニテハ社會ノ秩序既ニ定マリ貧ニシテ志アルモノ世ノ羈絆ニ規々タルヲ屑シトセザルモノハ社會ノ氣風ニ制セラレテ其身ヲ安ンジ其說ヲ行フノ場所ヲ得ズ俯仰聯盼我目前ヲ遮ルモノハ悉ク不平ノ種ニシテ痛憤自カラ禁スル能ハズ特ニ近來教育ノ布及スルニ隨ヒ人生字ヲ知ルハ憂患ノ始メニテ世事ヲ憂憂スル人大ニ增シ世ヲ憤リ時ヲ慨シ滿腹ノ不平ヲ蓄フシテ世ヲ終ルモノモ少ナカラズ即チ近年歐洲ニテ頻リニ政治上ノ改革ヲ企テ事成ラズシテ身ヲ他國ニ潛匿スルモノ多キ所以ナラン近頃千八百八十三年鵜逸無名氏ノ著述ニ係ル歐洲文明多僞論ト題スルモノヲ見ルニ其中ニ一有志家ノ傳ヲ假作シテ歐洲一般志士ノ生涯ヲ代表記述セシモノアリ今其大要ヲ左ニ掲クレバ

はんす先生ノ傳

はんす先生ハ歐洲某國ノ產ナリ成童學校ニ入リテ法律ヲ學ビ業成ルノ後代言師ト爲ラントスレド官許ヲ得ザル可ラズ、蓋シ歐洲ノ習慣ニテ敕ヲ作ルニハ官許ヲ要セズ代言師ト爲ルニハ官許ヲ要ス然カモ代言ヲ誤リテ人ヲ害スルト墨殺ヲ作リテ人ヲ害スルトハ其害ヤ一ナリ是ニ於テ先生ノ不平知ル可キナリ先生年既ニ弱冠、異邦ニ歷遊シテ其學識ヲ具セント欲ス面シテ徵兵適齡ニ當ル、先生輙チ兵籍ニ入リ人生ノ自由其一半ヲ束縛セラレ居常怏々トシテ樂マズ偶々困難シテ處女ト結ビ遂ニ慇懃ヲ通スルヿヲ得ダレド身兵籍ニ在ルヲ以テ迎ヘテ妻ト爲スヿ能ハズ是ニ於テ先生ノ不平知ル可キナリ、其後先生兵役ヲ免カレ漸ニ自由ノ身ト爲リタレバ家屋ヲ市街ニ新築シテ將ニ酒店ヲ開カントス面シテ家屋新築ノ官許ヲ得ザル可ラズ先生以爲ラク市街ハ公衆ノ市街ナリ中ニ家屋ヲ築クニハ官許ヲ得ザル可ラズトスルモ我野外ノ所持圃ナラバ家屋ノ有無、他人ニ關係セザルガ故ニ官許ヲ得ザルモ亦可ナラント面シテ國法之ヲ許サヾルナリ先生家ニ商品アリ日曜日ニ當テ之ヲ販賣セントシタルニ拘引ノ上罰金ヲ課セラレタリ先生ノ居點闇、頗ル夜眠ヲ爲スニ困ミ終夜戶ヲ開テ臥シタルニ警官來テ厳ニ之ヲ禁シタリ是ニ於テ先生ノ不平知ル可キナリ、一日隣翁墓貧ノ謀ヲ抱キ羅ヲ先生ノ土地ニ結ビタレバ先生其無法ヲ怒リ之ヲ法廷ニ訴ヘタルニ訟結シテ解ケザルヿ數月、原告ノ申分ハ立チタレニ其入費ヲ算シタルニ殆ンド其地價ノ二十倍ニ上リタリ先生或ル時觀古美術館ニ到リれねすさんす時代ノ圖畫ヲ縱覽セシニ其中ニ奇異ノ衣服ヲ着スルモノアリ先生見テ深ク之ヲ愛シ之レニ摸擬シテ新衣服ヲ調シ意氣得々之ヲ着シテ外出シタルニ忽チ警官ノ詰責スル所ト爲レリ他日先生同友ヲ會シテ倶樂部ヲ結ビ政治法律ヲ講セントシタルニ警官來テ其名簿ヲ調査シ爾後解散ス可キ旨ヲ命ジタリ是ニ於テ先生ノ不平知ル可キナリ、先生百事志ヲ得ズ俯仰感慨ノ中歲月徒ラニ宿昔青雲ノ志モ今ハ頭髮ト共ニ灰ノ如シ遂ニ北亞米利加ノ天ヲ眺メテ其自由ヲ欽羨シツヽアル間ニ其妻一日病ニ罹リテ死セリ先生曰ク是レ精誠ノ妻我レ割愛ニ忍ビザルナリト乃チ之ヲ後園愛樹ノ下ニ葬リタルニ警官百雷ノ大喝ハ忽チ先生ノ頭上ニ響キ死體ヲ一私人ノ邸內ニ埋葬スルハ不埒千萬ノ所爲ナリトテ先生ハ忽チ罪ヲ得、死體ハ發掘ノ上檢視セラルヽニ至リタリ先生妻ヲ失ヒ孤身煢々自カラ支ユル能ハズ一日市ニ往テ食ヲ乞フ警官先生ヲ拘留シ且ツ叱シテ曰ク汝、乞食ハ國家ノ禁制タルヲ知ラザルカ先生答ヘテ曰ク知レリ、然レドモ拙者其理由ヲ知ル能ハズ拙者ノ食ヲ市ニ乞フヤ敢テ人ヲ妨ゲズ唯默シテ我手ヲ出シ以テ慈善者ノ惠投ヲ待ツノミト言未ダ畢ラザルニ警官摩ヲ廻マシテ之ヲ叱シ遂ニ八日間ノ禁錮ニ處シタリ先生其後救濟病院ニ至リ罪囚同樣ノ待遇ヲ受ケシガ一日途ニ舊知己ノ馬車ヲ驅テ過グルモノニ遇ヒタレバ身ノ零落ヲ愧ヂテ低頭禮意ヲ奏シタルニ知己驚ミズシテ去ルヲ見テ先生大ニ恚ミ汝何ノ無禮ナルヤト詰リタルニ知己之ニ答ヘテ無禮ハ汝ノ致ス所ナリト放言シテ去レリ先生不平鬱ヲ發シスル能ハズ一夕意ヲ決シテ身ヲ河水ニ投シタルニ警官來テ之ヲ引キ上ゲ故意自殺ノ厳ヲ以テ禁錮ニ處セラレ米ダ幾バクナラズシテ其禁錮中ニ歿シタリ

右ハ歐洲志士ノ一生涯ヲ代表記述セシモノニシテ事例少シク極端ニ走リタルノ嫌ヒナキニ非ザレドモ彼ノ虛無黨社會黨ナド稱スルモノヽ經歷ニ就キ一々其心身ノ不平不滿ヲ數ヘタラバ或ハ右ノ事例ニ過グルモノアルヤモ測リ難シ乃チ彼ノ不平黨等ガ近來頻々政治上ノ改革ヲ企テ或ハ其改革ノ方便トシテ最モ激烈ナル武器ヲ使用シ政府無慈悲ノ厳ナル身本國ニ潛匿スル能ハズシテ他國ニ亡命スルモノ多キ所以ナラン斯クテ他國ニ亡命スルモノハ今日ノ處ニテハ尚故鄉ノ國事ニ懇々功名立身ノ地ヲ異邦殊域ニ求ムルノ意ナキモノヽ如クナレドモ事勢ノ自然、其地位ヲ文明國ニ求メンヨリハ寧ロ之ヲ劣等國ニ求ムルニ若カズトノ觀念ヲ開クヿナシト云フ可ラズ例ヘバ彼ノ西伯利地方ノ鐵道モ成就シ又露國ヨリ支那ノ背部ニ通ズルノ道路モ開クルニ隨ヒ彼ノ虛無黨ノ如キモノモ漸ク其本國ヲ離レ其文明政府ニ敵スルノ武器ヲ抱テ支那ノ內部ナドニ進入シ一方ノ魁帥ト仰カル、抔ノ奇例モナキニ非ザル可シ又社會黨、ふるにやん黨其他歐洲ノ政治上ニ不平アル黨人ニシテ永ク歐洲諸國ニ潛伏スルニ堪エズ亞細亞ニ亞米利加ニ南亞米利加ニ漸ク其遠征ヲ試ミ又其地方ニ居留來住スル外商等ト相結ビ據テ以テ功名立身ノ地ト爲スヿモアラバ優等國政治上ノ不平ハ之ヲ劣等國ニ洩スヿト爲リ劣等國人ノ地位ハ之ヲ從來ニ比較シテ一層ノ困難ヲ加フルヿトモ爲ラン故ニ劣等國人ハ今後優等國ヨリ移住シ來ル人民中ニ商アリ工アル其外ニ政治上ノ移住民ト稱スル一種懼ル可キモノアルヿヲ察シテ豫メ大ニ警戒スル所ナカル可ラズト信ズルナリ（畢）

雜報

○長野重罪裁判所　判事世良重德氏は去る廿日東京控訴裁判所に於て第二期長野重罪裁判長と命せらるゝたり

○大和艦進水式　去る廿一日の本紙上に大和艦進水式云々と電報を記載せしが愈來月一日と下して擧行するとゝ決定し東京より川村海軍卿及海軍將校は右臨場の爲め同地に出張する由又當日は大坂鎭臺將校及び近傍府縣長官等三百五十名餘を招待する筈に聞けり

○米國々會の閉場　米國々會は去月四日を以て閉場したる由同會に提出したる議案の數は一萬千四百三十一件なりしが此中法律となりたるものと僅か五百四十八件ありと云ふ

○米國新內閣員諸氏の傳　クリヴランド氏が大統領の職に就き即時にバヤード氏を國務卿に、マンニング氏を大藏卿に、エンデコット氏を陸軍卿に、ウヰットチー氏を海軍卿に、ラマール氏を內務卿に、ヴヰラス氏を驛遞總官に、ガランド氏を檢事長に、夫々任定して新たに新內閣を組織せし由は既に本紙上に記載せし所なるが今米國の新聞より右新內閣員七氏の略傳を譯出する事左の如し

○國務卿バヤード氏（Bayard）　トウマス　フランシスバヤード氏は亞米利加の政治上に最も長く著名なりし一族より來りバヤード家四世の孰れも國會に於て好地位を占め且つ外交事務上に其名譽を博せし人々なり」バヤード氏は千八百二十八年十月廿九日を以てデラチヲワ州のウヰルミントンに生れ父と合衆國上院の議員にして氏は其第五子なり幼少の時は父の膝下に在て教育を受け年十三に及んでロングアイランドのフラシングに行きフランシス　エル　ハウシス氏れ門に入り其處に一兩年を過したり千八百四十三年氏の父ハ氏とコロンビヤへ連れ來り氏の祖兄弟なるスチエルメルホルン氏の家に入れ商賣取引上に關する帳簿の取扱方を見習はしめたれば氏は喜んで之を從事し其處にて大に實地の事務を覺へ夫よりフキラデルフヰヤに移りモルリスツルン氏れ家にて更に事務取扱れ熟練を增したり、千八百四十八年氏が二十歲の時、氏の長兄某が病死せし付デラチヲ州の家に歸省せしのば千八百五十六年父と共に訴訟事務を開て毎度訴訟に勝ちたりは繼かり千八百五十三年氏に率けらるしが一年ならしてフヰラデルフヰヤに共ホ會社を設立し是務と以て五十八年氏は再び本國ニに歸りたり、是時に當りしくして專ら代言の事務に助けと要せしを以て氏せり」南北戰爭の時に當り事務頗る繁忙なりしが氏を保護せんと民兵隊を組ド氏は撰ばれて其指揮官ウバーに於て彼の有名な演說者の一人なりし此時以て其後大統領故選の期演說を引き氏は決して大そして每々之を妨げたり歷史を研究し且つ世事に際活發なる政治家の名と六十九年デラチヲ州より特元老院も代議士院も共ていい只ウヰルラード、ツりし氏は元老院ニ入りと々の名を博し其進々る所ありとて元老院中共和黨り、氏は常に其職務ニ勉資委員に撰ばれ隨て其實ニ紐育の稅關ニ取調べて暴露したるは實に氏の八百七十六年大統領撰擧奔走したり（七十六年の共和黨ゆナルブン氏とが數の相違ニて ヘース氏が氏は屢ば財政ニ關し正道を守るべきを主張のことニ就き盡力する所我りて終始之を變せざりバルナモールの衆行者（Louise）を委りて三男六百七十七年氏ニハーバー愛け其后一年を經て家春十九年の秋歸國せしが其大ニ歡待されたりと云ふ

○森有禮氏れ演說　氏は今日の處ニテハ尚故鄉ノ國事ニ懇々所へ赴き演說したるに付事、押田勤業課長、四區長府會議員及び豪商紳士の君の演說しる大意と聞け

郵遞局認可

明治十八年四月廿四日
（西暦一千八百八十五年）
金曜日
第九百五十一號
日曜日休刊